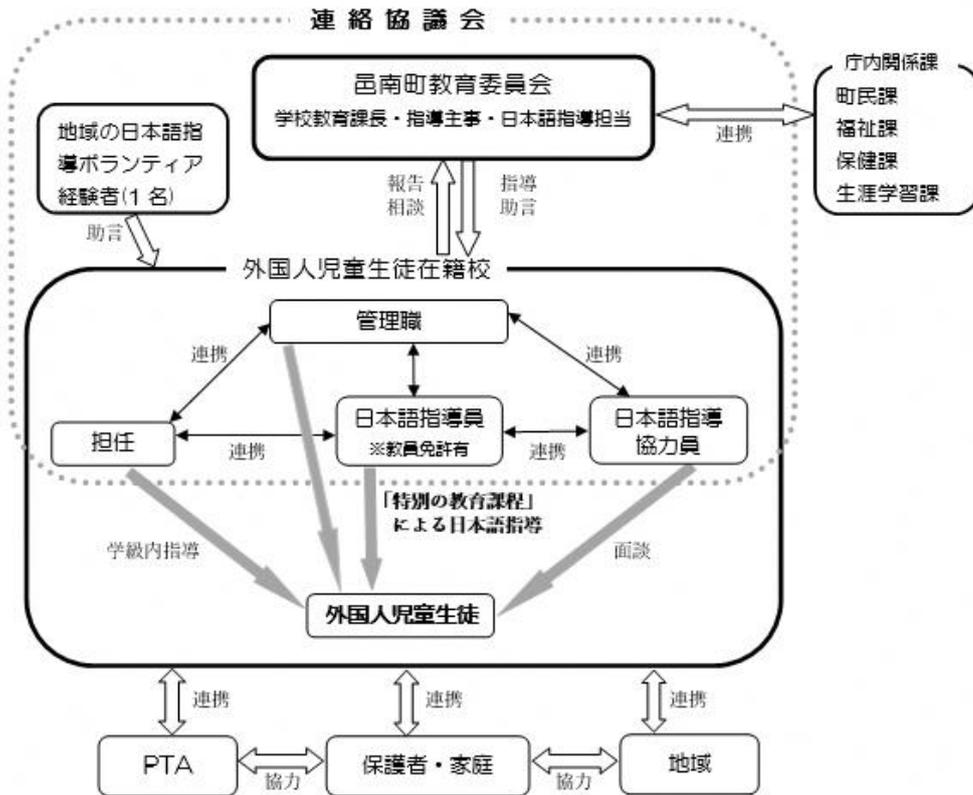


令和3年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
 (I 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業)
 事業内容報告書の概要

地方公共団体名【 邑南町 】

令和3年度に実施した取組の内容及び成果と課題

1. 事業の実施体制(運営協議会・連絡協議会の構成員等)



2. 具体の取組内容 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること

(1)連絡協議会の実施

- 教育委員会、学校管理職、担任、日本語指導員、日本語指導協力員、日本語指導ボランティア経験者による連絡協議会(4回)

(2)学校における指導体制の構築

- 対象生徒在籍校(1校)を拠点校とし、日本語指導員1名、日本語指導協力員1名を派遣した。
- 日本語指導の手法を学ぶため、他の自治体の日本語指導実践校を訪問し、授業参観及び情報交換を行った。

(3)「特別の教育課程」による日本語指導の実施

- 「特別の教育課程」を編成し、個別の指導計画を作成して、個に応じた日本語指導を実施した。
 - 4月 「特別の教育課程」編成、個別の支援計画の作成。計画に基づく日本語指導開始
 - 8月 指導の振り返りと改善
 - 12月 個別の指導計画の見直しと修正、指導改善
 - 3月 今年度の実践と達成目標に対する評価、次年度に向けた指導計画の見直し・作成

(4)成果の普及

- 町ホームページへの日本語指導実践の概要と成果の公表

(7)ICTを活用した教育・支援

- 生徒及び保護者との意思疎通のためのボイストラや翻訳アプリの活用
- デジタル教科書及びタブレットドリルを活用した学習支援
- (10) 日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣
 - 日本語指導員を配置し、年間 550時間の日本語指導を行った。
 - ・取り出しの日本語指導・・・1日当たり平均1時間
 - ・入り込みによる指導・・・1日当たり平均1～2時間
 - 日本語指導協力員を配置し、対象生徒との面談を月1～2回行った。

3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること

(1)連絡協議会の実施

- 日本語指導の進捗状況や日本語の習得状況などを共有した上で、より個に応じた日本語指導の在り方を検討し、その後の指導等にあたることができた。
- 日本語指導の経験者や有識者等、専門の知識を持つ方の助言が頂けるよう、構成員の検討を行う必要がある。

(2)学校における指導体制の構築

- 日本語指導員及び日本語指導協力員の配置により、日本語指導体制の充実を図ることができた。
- より良い指導体制の構築について、日本語指導に精通した方からの助言を得る機会を設けることも検討したい。
- 教員が生徒との関わり方について共通認識を持つことや、日本語指導と連携した教科指導・支援について検討・確認し、学校全体で日本語指導に取り組んでいけるような体制づくりを進めていく必要がある。

(3)「特別の教育課程」による日本語指導の実施

- 個別の指導計画に基づいた指導を行うことで、対象生徒の日本語の能力を高めることができた。
- 該当生徒の興味関心など、生徒の実態に即した日本語指導を行うことができた。
- 高校受験を見据えた指導計画の作成と指導の検討・実施が必要となる。

(4)成果の普及

- 町のホームページで公表することにより、邑南町が行っている日本語指導について発信することができた。
- 今後も更に日本語指導が必要な児童生徒が転入することも想定し、より充実した町の支援体制を整えていく必要がある。

(7)ICTを活用した教育・支援

- ボイストラ、翻訳アプリの活用により、互いの国の言葉が分からない教員と生徒との意思疎通がスムーズに行われた。
- タブレットドリルを活用して繰り返し学習することで、学習内容の定着を図ることができた。引き続きICTを活用した支援を行う。

(10) 日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣

- 指導員の配置により、対象生徒の日本語のステージレベルが【話す】【聴く】のスキルにおいて2から3に向上した。
- 日本語指導員の継続確保及び対象児童にとって必要な日本語指導の時間の確保が求められる。
- しまね国際センターのコミュニティ通訳ボランティアを活用したところ、本人及び保護者との意思疎通に非常に有効であったことから、来年度以降も活用を検討する。

本事業で対応した幼児・児童生徒数	幼稚園等	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	中等教育学校	特別支援学校
	人 (園)	人 (校)	1人 (1校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)
うち、特別の教育課程で指導を受けた児童生徒数		人 (校)	1人 (1校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)

4. その他(今後の取組予定等)

- 今後も対象生徒に対する日本語指導を引き続き行う。
- 連絡協議会に日本語指導や日本語指導の体制づくりに精通した方を招くことを検討する。
- しまね国際センターとの連携。